



2026 年 9 月 11 日

各 位

会 社 名 株式会社エターナルホスピタリティグループ
代 表 者 名 代表取締役社長 CEO 大 倉 忠 司
(コード番号：3193 東証プライム)
問 合 せ 先 経 営 企 画 室 室 長 北 川 航
(TEL. 06-6206-0808)

通期連結業績予想と実績値との差異に関するお知らせ

2026 年 3 月 13 日に公表した 2026 年 7 月期（2025 年 8 月 1 日～2026 年 7 月 31 日）の通期連結業績予想値と実績値との間に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 通期連結業績予想と実績値との差異（2025 年 8 月 1 日～2026 年 7 月 31 日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1 株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想（A）	52,801	3,430	3,435	2,113	91.59
実績値（B）	51,254	2,797	2,800	1,318	57.13
増 減 額（B－A）	△1,547	△633	△635	△794	
増 減 率（ % ）	△2.9	△18.5	△18.5	△37.6	
（参考）前期実績	46,356	3,121	3,103	1,720	74.61

（注） 当社は 2026 年 8 月 1 日を効力発生日として、普通株式 1 株につき 2 株の割合で株式分割を行っております。上記の 1 株当たり当期純利益は、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して算定しております。

2. 差異の理由

売上高につきましては、国内鳥貴族の既存店売上が堅調に推移した一方、国内外の新規出店が計画未達となったことから前回発表予想を下回りました。各段階利益については、第 4 四半期において、一時的に費用がかさむ新規出店が偏ったことや人件費等の販管費が過大になったことにより減少しました。海外事業においても直営店における先行赤字が計画比で拡大し、利益を押し下げることとなりました。

また、国内一部店舗や閉店の意思決定を行った中国（上海）の鳥貴族直営店 4 店舗について、減損損失 391 百万円を計上したこと等により、親会社株主に帰属する当期純利益は 1,318 百万円となりました。

以 上